



ふるさと笠松の「ちょっといい話」 No.81



「古切手を集めて、『ちょボラ』活動をしませんか？」 捨てればゴミですが、古切手は宝物に変身しますよ。



『ちょボラ』というのは「ちょこっとしたボランティア」活動のことです。

笠松町のボランティア団体である「木曜めぐみの会」では、古切手の整理をしています。古切手の整理を始めたきっかけは、今から15、6年前に会社を退職した片桐 稔さんが、「何かできるボランティアはありませんか？」と、社会福祉協議会に尋ねたところ、古切手の整理を勧められたから始めたとのこと。人数もはじめは3人でしたが、4人5人と増え、現在は7人で活動しているそうです。(左と下は活動の様子の写真です。)

ボランティアの活動内容は、町内の皆さんから社会福祉協議会に届けられた封筒や葉書を、切手の周囲5ミリを残して切り取るものです。(切り取り方は最下部の写真参照)

「木曜めぐみの会」では、この活動を名前の通り、毎月第2と第4の木曜日の午前9時から11時30分頃まで、福祉会館で行っています。世間話をしたり、手先を使ったりすることで、ストレス解消になっているとのこと。私もやってみたいなという人は是非、活動時間中に福祉会館へお出掛けください。



さて、そこで整理された古切手はどうなるのでしょうか？それらの古切手は社会福祉協議会に戻された後、収集会社へ送られ、1kg 500円ほどで買い取られます。前回はおよそ10kgの古切手が業者に送られました。古切手は海外の収集家に売られたり、切り絵の材料として使われたりしているそうです。福祉協議会では換金したお金を、以前は車椅子の購入に充てていましたが、災害支援などのために積み立てているとのこと。



捨てればゴミになってしまう古切手がボランティアの方々の働きによって宝物に変身します。皆さんも是非、福祉活動に役立てるために古切手を集めてみてはいかがでしょうか？古切手が集まったら、町役場の保険医療課、中央公民館、松枝公民館、総合会館、社会福祉協議会にお持ちください。

↑切手の周り5mmを残して切る。

たくさん集めて「木曜めぐみの会」に整理していただきましょう。古切手を集めるボランティア活動を通して、笑顔あふれる笠松町になるとよいですね。

町内で「ちょっといい話」を小耳にはさまれましたら、笠松中央公民館担当まで電話、FAX、手紙、意見箱などの方法で、ご連絡いただくと幸いです。記事にさせていただくことがあります。なお、この「ちょっといい話」は笠松町のホームページの「道徳のまち」のバナーをクリックすることによって、第1号から最新号まで閲覧できます。ご活用ください。Tel 388-3926 FAX388-3233